

太鼓がつなぐ出会いで 皆が共に成長

松川一の宮太鼓 会長

遠藤 一子 さん

エンドウ・カズコ 67歳 〓松川〓



昭和22年生まれ。昭和61年に松川一の宮太鼓を結成。9月28日に宮城県栗原市で開催された東北和太鼓競演大会で4度目の優勝を飾る。杉の子会理事長、平館保育園長も務める。B型のさそり座

「太鼓がつなぐ出会いで、会員皆が成長しているんです」と、笑顔を見せるのは、第27回東北和太鼓競演大会で4度目の優勝を果たした松川一の宮太鼓の遠藤一子会長。現在の会員数は、市内外の小学生から大人まで、約90人を数えます。

会が発足したのは、昭和61年。自身が運営する保育園の職員が山口太鼓の会（宮古市）から指導を受けたことがきっかけでした。「太鼓を通じ、卒園後の子どもたちとつながること、新たな出会いが生まれたことがうれしかったです」と、当時は振り返ります。



優勝を喜ぶ「松川一の宮太鼓」の皆さん（9月28日）【遠藤さん提供】

「子どもたちの感性などから、こちらがいろいろと教えてもらうことも多いんですよ。新しい演目づくりのヒントになることもありませう」と、思い掛けない喜びも感じています。海外で演目を披露したこともあり、「演奏を通じ、子どもたちは協調性や日本の文化などを学べていると思います」と、教育者としての立場も忘れません。

今後について「活動を通じて、会員が互いに学び、成長し続けたい。その結果、大会などで優勝できれば、なお、うれしいですね」と、目を輝かせます。

今月の表紙 みんな～がんばって!

第8回フィールドXレースが10月5日、市総合運動公園多目的広場で開催されました。同レースは、距離別の2部門で、年齢別など15種目が行われ、約440人が出場。選手たちは、コース脇からの声援を背に、さまざまな障害物を乗り越え、タイムを競い合いました。なお、市内入賞者は、14・15歳の「各種スポーツ大会成績」に掲載しています。



コース中には多くの難所が待ち構えます

■編集後記
11月25日から新庁舎での業務が開始されます。引越しの準備などを行わなければなりませんので、11月は忙しくなりそうです。▽広報はちまんだい7月3日号の7ページで紹介しました、市と㈱ゼンリンが協働発行する「暮らしのガイドブック2014」を11月20日に全戸配布します。ぜひ、皆さんの生活にお役立てください。また、発行に当たり、多くの事業者の皆さまにご協力いただきました。ありがとうございます。（佐々木）

※広報はちまんだい11月6日号(No.207)の印刷経費は1部56,246円、発行部数は10,400部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、市役所市長公室(☎・内線1213)まで。

